

防災 知識

問合せ 役場防災交通課



緊急地震速報について

緊急地震速報は、平成 19 年に運用開始されました。

震度 5 弱（大半の人が恐怖を覚える）以上の大きな揺れが来る数秒から数十秒前に、テレビやラジオ、スマートフォン、同報無線、防災ラジオで速報が流れます。列車の緊急停止による被害拡大防止や工場の操業停止の安全対策に利用されています。速報が流れたら、シェイクアウトをする等、家具の転倒から身を守る体制をとりましょう。（5 ページ参照）



◎地震波 P 波 (Primary) と S 波 (Secondary) の伝わる時間差を利用し、先に伝わる P 波を検知した段階で危険が迫っていることを事前に知らせます。



未対応、様子見はダメ！

P 波……最初の波で小刻みに揺れる縦波である。

波の進行方向に対し平行に揺れる。縦揺れとは違う。速度が速く約 7 km/秒

S 波……2 番目の波で強く揺れる横波である。

波の進行方向に対し横方向に揺れる。横揺れとは違う。速度が遅く約 4 km/秒

◎緊急地震速報が流れてから強い揺れが来るまでの時間が、南海トラフ沿いの地震では少しあると言われています。その時間に命を守る行動をとることが大切です。

緊急地震速報が流れた時の行動

直ちに身体、特に頭を守る動作をとってください。決して強い揺れが来るまで様子見をしてはいけません。命を守る行動につなげましょう。



日ごろから備えをしましょう

◎自宅の耐震対策

寝室やリビング等は、家具転倒防止、備品落下防止やガラス飛散防止をしましょう。



家具を固定していないと…

「広報たけとよ」は、
【雑誌】に分別して
ください。



問合せ
武豊町社会福祉協議会
ボランティアセンター
☎73-3104



▲「かえるの声」による
録音の様子

目の不自由な人や、高齢者など、広報を読むことが困難な人へ、朗読ボランティア「かえるの声」による CD・テープの録音・配達を行っています。ぜひご利用ください。

朗読 CD・テープを
ご利用ください

今年は、早い時期からインフルエンザが流行しましたね。私も毎年かからないように気を付けています。今年は予防の一環として、温活に取り組みました。体温が 1 度上がると免疫力が何倍にもなるということで、筋肉をつけるために簡単な筋トレをしたり、体を温める食べ物を意識して食べるようにしています。寒い時期が終わっても、無理のない範囲で続けていきたいなと思います。

「あとが記」